
2. つくばエコ・ビレッジ研究会

環境共生型居住形態の実現をめざした研究・実践活動

(茨城県つくば市)

I. つくばの田園住居を提案していますー環境共生

「エコビレッジ」は、エコロジー（生き物を取り囲む環境の体系）とビレッジ（むら）という言葉結びつけた造語です。エコビレッジ（自然や歴史と共生する住まい方）は、田園環境の中で、豊かでワクワクする暮らしを目指しています。

つくばは、首都圏の一翼を担う国際都市として、約30年前から整備されたまちです。そして同時に、筑波山が象徴する穏やかな気候風土に恵まれながら、数千年の歴史を積み重ねてきた地域でもあります。

今、開発の影響力の強いつくばでは、都市とか農村とか分けて地域づくりを考えるのではなく、<田園環境をいかし高める>を共通テーマにしたまちづくりが求められています。私たちは、集落の人口減、高齢化、後継者不足などの問題や、学園地区に住む住民が持ち家を農村に持ちたいという欲求のあるつくばという場所（フィールド）で、田園居住を提案しています。

II. 市民のたくさんの声と出会いを大切に活動していますー市民発想

つくばエコビレッジ研究会は、平成4年、農村居住に関心のある者がつくばJC主催の「街づくり塾」をきっかけに集まって発足し、アンケートや学習会、現地調査会などで集めた市民の声と研究の成果をもとに、エコビレッジ実現について検討してきました。

研究会の会員は20名弱ですが、私たちの活動は数百におよぶ方々の声に支えられています。中でもこれまでの成果は、つくば市若森地区の住民の方々の協力を頂きながらまとめられました。また、平成6年度は、財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団の助成援助を受け、エコビレッジ基本計画をまとめることができました。

私たちはこうしたひとつひとつの出会いをゆっくり暖めながら、着実にエコビレッジづくりを進めています。実現までには、多くの方のご意見やご協力を必要としています。エコビレッジに暮らしたいと思う方にはぜひ、感じることを伝え、簡単なことから実現に参加していただきたいと思っています。

III. 持続的な環境づくりを検討していますー継続的展開

エコビレッジは、自然の回復力や、地域社会（コミュニティ）、土地利用など集落の収容力（キャパシティ）を基本とした人口定着や開発を検討し、田園環境を持続的に支える仕組みの実現を目指します。集落にとっての第一条件は農業を育てることです。田園環境を支え、農村文化を伝えるために、やる気のでる農業の環境づくり、生活環境の向上が重視されます。

エコビレッジが対応する課題は、環境問題、教育や医療・福祉、勤め先や交通、土地問題など多岐にわたります。将来は、エコビレッジの活動が全国のまちづくりに関する市民活動とつながっていくことが展望されます。



若森地区の池

IV. 地域に根ざしたエコビレッジを実践していますープロセス重視

私たちは、都市住民の多くの要望に答えるべく、農村に住む条件を整えます。住みつき、都市と農村が共に生きるつながりをもつことによって、地物を食べ、ヤマを利用し、作物を育てるなど豊かな田園の暮らしを実現させます。

エコビレッジづくりは、これまで田園環境にかかわってきた地域が主体となります。人が住みつくことは、集落にとって新しい風を吹き込む効果もあります。人が入ってくることへの不安は時間をかけることによって解決されますが、これまで得た技術や各地の事例などをもとに、私たちも支援組織づくりや人材の育成など、地域と外をつなぐお手伝いをして参ります。

V. 活動の内容

研究会では、以下のような企画を開催し、エコビレッジの内容を詰めながら、田園への住み手集めと実現する集落の準備を進めています。

○公開セミナー

各専門の先生を囲んで行う勉強会を行っています。これまで、クラインガルテン（市民農園）の専門家の金丸三郎氏や、農村研究の専門家の鎌田元弘氏などをお招きしました。

○田園の暮らしカルチャー講座

現地見学会と公開セミナーを組み合わせた企画を行っています。郷土研究家など地元の講師を毎回お招きしています。また、なるべく多くの方々が田園の暮らしに関心を持つように、俳

句会や利き水会、鍋を囲んだパーティなど楽しい催し物を併せて開催しました。これまで各回10～20人程度の参加がありました。

○シンポジウム

エコビレッジに関する話題について数人の講演者に意見をいただき、会場に集まった方々の質問に答える討論会を行っています。これまで、つくば青年会議所主催のつくば市民会議の一環として平成5、6年と2回のシンポジウムを開催しました。集まって下さった方々は延べ約200人になります。

○パネル展示

私たちの構想としてまとめたエコビレッジの絵や写真などを紹介しています。つくば最大のショッピングセンター「クレオ」でのアースデイ企画に参加したのを始め、シンポジウムなど機会ある度に紹介しています。

○アンケート

田園の暮らしカルチャー講座等は、地元情報誌を通じ広く参加者を募集しています。集まった方々のご意見を集約するため、私たちは随時アンケートを実施し、エコビレッジ基本計画に反映させています。これまで50名以上のご意見を集めることができました。

○地元懇談会

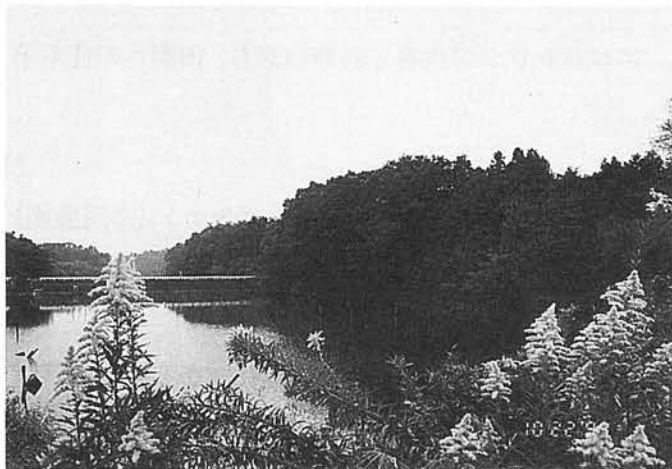
地元の住民の方が集まる地区総会等の公的な場所をお借りして、随時、地元懇談会を開催しています。地元住民の方々との交流を深めるとともに、私たちの研究に対するご意見や感想を承っています。これまでつくば市若森地区で行ってきました。

○定例会

毎月1回、研究会の運営を円滑に進めるための打ち合わせを行っています。この他にも、カルチャー講座の下見会など必要に応じて会員が交流する機会をつくっています。



現地の見学会



水辺の田園生活を指す

VI. 今後の活動予定

今後は、提案を実現につなげる以下の活動を実施していく予定です。

○セミナーの開催等

より多くの方へエコビレッジを知っていただくために、引き続きセミナー、シンポジウム等を開催します。また、行政その他関係機関との親睦を深めます。

○エコビレッジ絵本の作成

対象地域との交流を深めるため、地元高齢者等への聞き取りにより地域資源（ため池、郷土料理など）を主題にした絵本を作成します。

○実施計画の立案作業

エコビレッジの具体化を図る区域と手法を選定し、実施計画案をまとめます。

○実施検討会の開催

基本計画をもとに地元懇談会を開催し、既存集落の住民と居住希望者の意見調整をします。また、実現のための新たな事業主体を検討します。